



SPECIAL

特集

令和5年度 良質な医師を育てる研修

～ 病院勤務医に求められる総合内科診療スキル ～

DATA

NHO × グループ別専攻医募集人数

PROGRAM

初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 まつもと医療センター



PROGRAM

専門研修プログラムの紹介

国立病院機構 熊本医療センター

国立病院機構 東近江総合医療センター



HOSPITAL

病院クローズアップ

国立病院機構 沖縄病院



特集

「令和5年度 良質な医師を育てる研修」 ～ 病院勤務医に求められる総合内科診療スキル～

講師

東京医療センター
総合内科科長・
感染症内科科長
鄭 東孝



PROFILE

出身地：東京都
出身大学：産業医科大学(1989年卒)
宝 物：職場の仲間
座右の銘：上手いかわなくて当たり前

京都医療センター
総合内科診療科長・
統括診療部長
小山 弘



PROFILE

出身地：大阪府
出身大学：京都大学(1986年卒)
座右の銘：大騒ぎをして外れたら腕をかくのは自分、大騒ぎをせず(心配していたことが)あたら死ぬのは患者。大騒ぎをせよ(そしてみんなの力を借りよ)。

東京医療センター
総合内科副医長
山田 康博



PROFILE

出身地：長崎県
出身大学：久留米大学(2004年卒)
宝 物：家族との時間
座右の銘：一期一会

NHOの“良質な医師を育てる研修”(受講料無料・宿泊交通費支給)は、全国のNHO病院の経験豊富なスペシャリストから直接指導を受けられるだけではなく、NHOの全国各地の医師たちと交流できることも魅力。今回の特集は“良質な医師を育てる研修”より2023年6月9日・17日に開催された『病院勤務医に求められる総合内科診療スキル』を紹介。講義を担当した先生方を代表して、鄭東孝先生(東京医療センター)、小山弘先生(京都医療センター)、山田康博先生(東京医療センター)にお話を伺いました。



『病院勤務医に求められる総合内科診療スキル』の開催目的、意義とは

鄭…高齢化社会の進展によって、複数疾患をもつ高齢患者さんが増加し、単一の疾患だけを診ていれば良い時代は過ぎました。治療を終えても「せん妄」や「廃用症候群」の進行、さらに生活環境の問題など、複数の課題に適切に対処しなければ退院できない高齢患者さんも増えています。このような危機感に対応すべく、2014年から『病院勤務医に求められる総合内科診療スキル』をスタートしました。この研修によっ

て、総合内科・総合診療のプレゼンスが高まることも期待しています。

病院勤務医に求められる総合内科診療スキルとは

小山…患者さんの身体的な問題に限らず、精神・心理・社会的なことも含めたあらゆる問題に対して適切に対応できる能力です。

鄭…病院医療にあって病院外医療にないもの。それは「退院」です。従来の“疾患の治療を目指す医療”のみでは高齢患者の退院は困難であり、エビデンスに基づいた適切かつ総合的なアプローチによって多様な問題を解決し、退院に導くこと



が重要となります。

そのためには幅広い疾患に対応できるテクニカルスキルだけではなく、在宅復帰するにはどういった生活支援や社会支援が必要なのか、多職種と協働したチーム医療の実践などノンテクニカルスキルも求められます。

この研修の特徴について

山田…楽しく、和気あいあいと学ぶことができる研修であり、総合内科診療に大切な「現場で起こる多様な問題を解決し、患者さんに提供する医療の質を向上させるスキル」を習得することができます。テクニカルスキルだけではなく、知識や考え方も含め、受講した先生たちが実際に現場で“使える”内容であり、内科・総合診療希望者向けではありますが、どなたにでも非常に役に立つ研修となっています。

鄭…カジュアルな雰囲気のなかイ



ンタラクティブに楽しく学んでいただける研修となっています。

みなさんが自分のしている医療に面白さを感じられないのであれば、それは診療のポイントが分かっていないからかもしれません。認知症患者さんへの診療も技術をもってアプローチすることで、医師として非常に興味深く、楽しくやりがいをもって診療することができます。こうした診療の楽しさもしっかり伝えることができる研修を心掛けています。

小山…総合内科は幅が広く、部分部分を独自に勉強していくことは難しいことだと思います。この研修では経験豊富な総合内科医から、実際の現場で遭遇する問題と、それを解決するためのノウハウや勉強方法を教えてもらうことができます。教えてもらったノウハウをもって自分で解決策を考えながら学習していくことで、総合診療スキルに重要な問題解決能力が醸成されていくでしょう。そういった研修を心掛けていますし、楽しく学べることも非常に大切にしています。



NHOで働く(研鑽を積む)魅力とは

山田…NHOの各病院は政策医療、高度医療、急性期医療といったそれぞれに使命、特性があり、それが研修内容に反映され、各病院で魅力的な研修が行われています。NHOの各病院との連携もアドバンテージであり、施設外での研修を希望した際にも、同じNHO病院であればスムーズに受け入れができると思います。「良質な医師を育てる研修」のように、多施設が連携した教育を

受けることができるのも魅力です。**鄭**…NHOには意欲のある専攻医たちが初期研修医たちを教えるというカルチャーがあります。教えることで自らも知識が身につきますし、熱量のある同僚や先輩と共に働くことはとても楽しいでしょう。

若手医師のみなさんへアドバイスとメッセージ

山田…臨床は基本的に大変ですが、面白いこともいっぱいあるので楽しんでほしいですし、知識やスキルをどんどん得て、楽しいものに自ら変えていくことも大切です。

また、「医師の働き方改革」による勤怠管理やシフト制の導入によって、指導医と研修医との接触時間が減るなど現場では変化が起きており、これからの医師はセルフマネジメントがより求められます。自分を上手く俯瞰して行動してください。

鄭…勉強は知識武装するためのものではなく、アウトプットにより患者さんに最適な医療を提供し、退院など然るべき着地点に導くことで意味を成します。たとえ研修医であっても、患者さんは目の前の医師にすぎるしかなく、一人の医師として最善の結果を出さなければならぬタスクがあります。そのためにしっ

かり勉強に励んでください。そして、総合内科医の道に進まなくとも、患者さんの退院後の生活までを見据えた診療ができるジェネラルマインドをもった医師になってほしいと思います。

小山…超高齢化社会のなか、専門分野しか診ようとしない医師は患者さんの役に立つことは難しいでしょう。例えば、肺炎で来た寝たきりの患者さんを診た際、肺炎の治療だけではなく、パーキンソン病の疑いに気付くことで、神経内科にて適切な治療を受けることができ、退院時は歩いて帰ることができた。もし、肺炎だけしか診ていなかったら寝たきりのままだったでしょう。それは医師にとって大きな“罪”です。どの診療科に進もうとも専門領域以外の問題も認識し、適切な治療に導くことができる医師になってください。

そして、医師という職業を長く続けるには“楽しむ”ことも大切。「もっと深く理解したい」「この問題を解決したい」と、さまざまなことに興味を持ち、主体的に学び続けたいと思います。



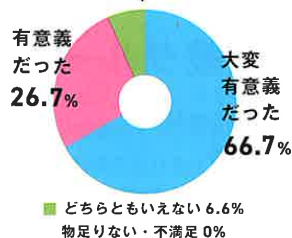
IMPRESSION 参加した先生の感想

経験豊富な総合内科の先生方が、普段からどのように考え、どういうことに気を付けて診察や病棟管理をしているのかなど、重要なポイントをわかりやすく教えていただきました。ちょうど患者さんの全身管理で悩んでいたこともあり、とても有意義な研修となりました。それまで自分の所属する病院内だけで学んできたことが、こうした研修を通して普段とは異なる視点の学びや考え方を知ることができ、また、全国各地の先生方と交流ができたことで視野を広げることもできました。“良質な医師を育てる研修”は交通費や宿泊費も支給されるため、積極的に参加しない手はないと思います。

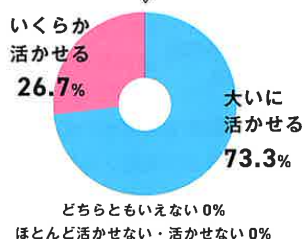
総合内科志望ではないのですが、右も左もわからないような状態を早く脱却し、自信を持って診療に携わるスキルを身に付けたいと思い参加しました。今回の研修で学んだ内容は、医師としてあらゆる場面で応用できるもの。患者さんの病態を適切に把握しようとする姿勢を知識とともにブラッシュアップし、病棟での診療だけでなく、救急対応のスキルアップにも結びつけられたらと考えています。研修は非常に楽しく学べるものでした。あまり肩肘張らず、普段の環境とは少しだけ違うエリアに遊びに行くというイメージで参加してみるのも良い経験になると思います。

RESEARCH セミナー参加者の声

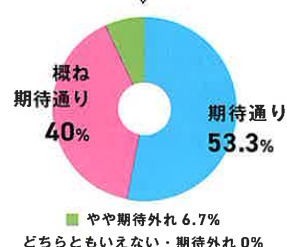
Q 研修の感想は？



Q 今後に活かせる？



Q 期待したとおりの研修内容だった？



長崎医療センター
初期研修医 2年目
小川 紗智



PROFILE

出身地：長崎県
出身大学：長崎大学(2022年度卒)
宝 物：家族
座右の銘：継続は力なり

京都医療センター
初期研修医 1年目
浅野 卓馬



PROFILE

出身地：岡山県
出身大学：大阪大学(2023年度卒)
宝 物：小中高大、それぞれの学校生活で同じ時間を過ごした友達
座右の銘：猪突猛進

NHO × グループ別専攻医募集人数

内…内科 小…小児科 皮…皮膚科 精…精神科 外…外科 整…整形外科 産…産婦人科 眼…眼科 耳…耳鼻咽喉科 泌…泌尿器科
脳…脳神経外科 放…放射線科 麻…麻酔科 病…病理 臨…臨床検査 救…救急科 形…形成外科 リ…リハビリテーション科 総…総合診療

近畿グループ

- あわら病院
総:2名
- 東近江総合医療センター
内:3名
- 京都医療センター
内:5名/外:5名/産:5名/整:3名/
麻:1名/救:5名/総:3名
- 宇多野病院
内:3名
- 舞鶴医療センター
精:2名
- 大阪医療センター
内:7名/皮:2名/外:6名/総:2名
- 大阪南医療センター
内:4名
- 神戸医療センター
内:6名/産:2名
- 姫路医療センター
内:4名
- やまと精神医療センター
精:3名

九州グループ

- 九州医療センター
内:2名/外:5名/総:2名
- 福岡東医療センター
内:5名
- 肥前精神医療センター
精:8名
- 長崎医療センター
内:6名/小:3名/産:5名/救:3名/
形:1名/総:6名
- 熊本医療センター
内:6名/救:5名/形:2名/総:2名
- 別府医療センター
精:1名/整:2名
- 鹿児島医療センター
内:3名
- 琉球病院
精:3名

東海北陸グループ

- 北陸病院
精:1名
- 金沢医療センター
内:3名
- 静岡医療センター
内:3名/麻:4名
- 名古屋医療センター
内:11名/外:4名/眼:1名/救:5名

中国四国グループ

- 岡山医療センター
内:10名/外:2名/総:2名
- 呉医療センター
内:4名/整:2名/麻:2名
- 福山医療センター
内:5名/総:2名
- 東広島医療センター
内:3名
- 岩国医療センター
内:6名/総:2名
- 四国こどもとおとなの
医療センター
小:7名/麻:1名
- 四国がんセンター
産:1名

関東信越グループ

- 水戸医療センター
内:4名/外:6名
- 栃木医療センター
内:5名/総:4名
- 高崎総合医療センター
内:7名/産:3名/総:2名
- 埼玉病院
内:7名/小:3名/外:3名/産:4名/眼:1名/
麻:2名/救:3名/リ:6名/総:2名
- 千葉医療センター
内:3名/外:1名

北海道東北グループ

- 北海道医療センター
内:3名/救:2名
- 旭川医療センター
内:3名
- 仙台医療センター
内:10名/精:3名/産:5名/
救:3名/総:3名

- 下総精神医療センター
精:4名
- 東京医療センター
内:10名/小:2名/精:2名/外:7名/産:3名/
整:2名/眼:1名/耳:2名/泌:2名/放:2名/
麻:2名/病:1名/救:3名/総:5名
- 災害医療センター
内:2名/外:1名/放:1名/麻:1名/救:1名
- 東京病院
内:2名
- 横浜医療センター
内:5名/外:5名/救:1名/総:1名
- 相模原病院
内:5名
- 新潟病院
総:2名
- さいがた医療センター
精:6名
- まつもと医療センター
内:3名
- 小謨高原病院
精:2名

初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 まつもと医療センター

治す医療から支える医療まで 研修は自由度が高く、主体性を尊重

教育研修部長・脳神経内科医長 福島 和広



まつもと医療センターの 初期臨床研修について

当センターは25の診療科と458病床を有し、小児から高齢者、超急性期から慢性期、さらに障がい児(者)、神経難病、血液疾患、結核診療にも対応するなど、幅広い専門医療も提供するケアミックス型病院です。こうした環境を活かし、実践重視の研修により幅広い基礎臨床力を着実に習得できます。初

期研修医の採用は例年2~3名のため、マンツーマン以上の手厚い指導体制により安心して研修に臨むことができます。診療科の垣根はなく、全科が同一の医局フロアを利用し、個人の机も科に関わらずランダムに配置されています。ローテーション中ではない科の医師にも気軽に相談ができる環境です。

研修医のためのセミナーを4-7月には毎週開催しています。各科

専門医による初期対応をテーマにしたシリーズ・レクチャー、座学だけでなく静脈採血、超音波のハンズオン、シミュレーターによる気管挿管など、技術的なレクチャーもあります。8月からは、症例プレゼンや他科コンサルのスキルを養うため、電子カルテを用いた日常症例の検討会を行っています。また、学会発表デビューを念頭にPowerPointによる症例検討会(月1回)も行っています。

プログラムの特徴について

当院の内科は、消化器、呼吸器、循環器、血液、神経、腎臓、糖尿病・内分泌内科といった広い専門領域と経験豊富な指導医が揃っており、内科研修プログラムが充実しています。また、外科は消化器外科と呼吸器外科のいずれか、または両方の研修が可能です。救急科は当院だけでなく、信州大学の救命救急センター(3次救急)でも研修ができます。日当直は月に3回で、上級医とペアを組んで2次救急の診療にあたります。2年間を通して経験するため、軽症から重症まで幅広い初期対応力を修得することができます。当院は研修医が多くないため、本人の主体性が尊重できます。経験したい手技や症例があればフレキシブルに対応でき、選択科の期間や年度途

中での変更などの融通も利きやすいです。

読者へのメッセージ

今は情報や選択肢が豊富に提示されている時代ですので、研修先を選ぶのは相当に悩ましいだろうと想像します。研修先やキャリアプランは重要ですが、たまたま縁のあった環境にとりあえず腰を据えて、そこで身につけられる物は選り好みなく何でも身につけていく事も結構大切かと感じます。違った分野に興味湧くとか、気づいていなかった適性が開花することもあるかもしれません。松本市は自然が豊かで、登山やウィンタースポーツも盛んです。北アルプスを一望できる素晴らしい環境で、晴天率が高く湿度が低いなど、暮らしやすい魅力です。当院では年休や日当直に対する代休の取得が徹底されており、メリハリのある働き方も出来ます。興味のある方は、ぜひ一度見学において下さい。



PROFILE

出身地: 長野県
出身大学: 信州大学(1999年卒)
宝物: 家族

VOICE × 初期研修医

“自立”した研修で 確かな基礎力を獲得

初期研修医 1年目 葭山 稜

一人の医師として“自立”した実践経験を積むことができます。もちろん最初はわからないことも多く、手技への不安もありますが、すぐ傍で上の先生方による手厚いサポートと指導があるので安心です。自立して動ける研修によって基礎力をしっかり獲得できます。雄大な自然に囲まれた素晴らしい土地環境も魅力でしょう。



PROFILE

出身地: 兵庫県
出身大学: 兵庫医科大学
(2023年卒)
宝物: 健康
座右の銘: 彩往黎来

着実に成長できる研修 オフも充実

初期研修医 2年目 荒川 正大

自由度が高く主体性のある研修ができます。何かあれば直ぐに先生方のフォローやポイントを押さえた指導をいただけるなど、着実にレベルアップできる教育体制です。救急科では自賠責診断書や診療情報提供書の書き方を学ぶことも特徴。オフには長野県の有名温泉巡りを楽しむなど充実した研修生活を送っています。



PROFILE

出身地: 大阪府
出身大学: 東海大学
(2022年卒)
宝物: ペット
座右の銘: 一期一会



国立病院機構
まつもと医療センター

住居 〒399-8701
長野県松本市村井町南2-20-30
WEB <https://matsumoto.hosp.go.jp>

病床数 **458**床 診療科数 **25**科

まつもと医療センターの特徴

長野県の中央、松本市南部に位置しており、信州まつもと空港、長野自動車道へのアクセスも良好です。東は美ヶ原・高ボッチ高原、西は乗鞍岳から穂高岳、常念岳、白馬岳まで北アルプスの名峰を一望できます。松本市の他、隣接する地域からも365日24時間、患者さんを受け入れる地域の中核病院です。

PROGRAM

専門研修プログラム：救急

国立病院機構 熊本医療センター

全診療科が揃い、多彩な症例を経験

集学的治療や全身管理も習得できます

熊本医療センター 救命救急科部長・集中治療部長 櫻井 聖大



熊本医療センターの救急科専門研修プログラムについて

当院の救命救急センターでは“全職員をあげて24時間365日体制で断らない救命救急医療”を理念に、軽症から最重症、内因性疾患、外因性疾患と幅広い患者さんを受け入れています。精神科を含む全診療科が揃っているため、精神科関連の救急が多いことも特徴であり、通常の病院では、なかなか遭遇

しない症例も多数経験することができます。

また、重症患者さんに対するICUでの集学的治療や入院管理も行っているため、救急の初期診療から全身管理まで一貫した診療を学んでいただくことができます。

連携施設は熊本県内だけではなく、福岡県や関東方面にも複数あり、連携施設の選択肢が多いことも特徴です。

VOICE × 専攻医

救急医としての幅広い実力を獲得

救急科 大本 寛之

当院での初期研修で、救急科の先生方の総合力や他科・多職種から大いに頼りにされる姿を見て「これが目指すべき医師像だ」と思い救急科に進みました。全科が揃っているため、多彩な救急患者さんを診ることができ、集中治療や全身管理も学べます。早くから実践的に学ぶ機会も多く、着実に成長できる環境です。



PROFILE

出身地：熊本県
出身大学：長崎大学
(2021年卒)
宝 物：自由
座右の銘：臥薪嘗胆

将来の進路に迷っている方にも最適

救急科 杉野 大樹

救命病棟やICUなどで入院患者さんも診ることができ、全診療科が揃っているため、精神疾患や社会的問題を抱えた患者さんの診療も経験できます。当科でなら幅広い患者さんの初期対応、あらゆる問題解決力、集中治療や全身管理と、どこでも活躍できる総合力を修得できます。将来どの科に進むか迷っている方にも最適でしょう。



PROFILE

出身地：熊本県
出身大学：熊本大学
(2020年卒)
宝 物：探し中です
座右の銘：人間万事塞翁が馬

研修プログラムの3年間に一切無駄はなく、非常に濃密な経験を積んでいただくことができます。

熊本医療センターの研修環境について

当科では軽症から重症までの初期診療、さらに集学的治療、入院管理も行っており、軽症や中等症患者など、慢性期における入院管理能力も獲得することができます。また、全診療科が揃っているため、どのような症例が来ても各診療科に相談できる環境は、専攻医にとって心強く安心でしょう。

各種モニター機器、人工呼吸器管理、血液浄化装置、人工臓器など、医療設備が非常に充実していることも特徴で、MEと連携しながら迅速で高度な専門治療を提供しています。薬物中毒に対する血液吸着療法も多く実施しているなど、他病院ではなかなか経験できない治療もしっかり研鑽を積むことができます。

専攻医の意向や希望を尊重した研修環境であり、勤務体制は複数担当医制によりオン・オフが明確で、働きやすさも魅力でしょう。救急科は他科や多職種との連携が重要であり、コミュニケーションも非常に大切なことから、みなで助け合い、楽しく仕事ができる環境づくりにも注力するなど、高いモチベーションで仕事や研修ができる体制を整えています。

初期研修医のみなさんへ

メッセージ

救急は医療の原点です。全ての患者さんが対象であり、救急科で研鑽を積むことで、あらゆる疾患への対応力、何事にも動じない強さと冷静な判断力、そして各診療科、多職種、救急隊、行政などとの連携も重要であるため、コミュニケーション能力も獲得することができます。

キャリアの幅も多彩で、救急医は全身管理ができるため、他科に進んでも大いに頼りにされ、活躍することができるでしょう。

救急医をめざす医師は、命を預かる強い“責任感”はもちろん“積極性”も大切です。難しい患者さんであっても積極的に診ていくことで、次に同じような患者さんに遭遇した際は対処できるようになり、それを繰り返していくことで救える命を救うことができる強い救急医になることができます。そして当科のプログラムでなら、3年間でどこでも活躍できる強い救急医になることができるでしょう。



PROFILE

出身地：福岡県
出身大学：熊本大学(2006年卒)
宝 物：出会い
座右の銘：なんくるないさ



国立病院機構
熊本医療センター

住所 〒860-0008
熊本県熊本市中央区二の丸1-5
WEB <https://kumamoto.hosp.go.jp>

病床数 **550** 床 診療科数 **34** 科

熊本医療センターの特徴

当センターは、高度総合診療施設であり、国際医療協力や長寿医療の基幹施設でもある。がん、循環器、内分泌・代謝、感覚器、精神疾患、骨・運動器疾患、難病、救命救急医療の専門性を持ちつつ、骨髄移植をはじめとする高度先進医療にも力を入れ、さらに、クリティカルパスに積極的に取り組み、医療の質の向上に努めている。

専門研修プログラム：内科

国立病院機構 東近江総合医療センター



**これからの社会に必要とされ、貢献できる
【高い専門性+総合力】のある内科医に**

東近江総合医療センター 内科診療部長 杉本 俊郎

東近江総合医療センターの内科専門研修プログラムについて

地域に根差した中核病院である当院を基幹施設、そして滋賀医科大学附属病院を連携施設とした3年間(基幹施設1年間以上+連携施設1年間以上)による研修で、さまざまな環境に対応できる内科専門医を育成します。

プログラムでは一人ひとりの専攻医が目指す専門医像に合わせて、①【内科基本コース】②【消化器内科重点コース】と2つのコースを準備しています。

サブスペシャリティが未決定、または高度な総合内科専門医を目指す場合は①【内科基本コース】を選択。将来のサブスペシャリティとして消化器内科が決定している専攻医は、消化器病・消化器内視鏡専門医像に応じた研修ができる②【消化器内科重点コース】を選択。

いずれのコースを選択しても遅

滞なく内科専門医受験資格を得ることができ、卒業5~6年で内科専門医、その後に消化器内科領域の専門医取得が可能です。

東近江総合医療センターの研修環境について

当院には6つの内科系診療科があり、さらに、救急を通して内科領域全般の疾患が網羅できる体制にあります。主担当医として、外来(初診)、救急、入院から退院、通院まで幅広く経験していただくことで総合力を獲得することが可能です。

さらに「滋賀医科大学 地域医療教育研修拠点」として、院内に「総合内科学講座」が設置されていることも特徴です。滋賀医科大学の総合内科学講座の教官から常時指導を受けることができ、さらに連携施設である滋賀医科大学附属病院での、より専門性の高い研修によって、総合内科学的な視点と内科

領域別の専門医の視点、両方を有した内科医になることができます。

また、2024年度から「医師の働き方改革」が始まりますが、特に睡眠不足は医療ミスを引きやすく、医療安全に関わる重大な問題です。しかも慢性的な睡眠不足は自覚しにくいので、専攻医の先生方が寝不足にならないよう心身共に健康に働ける環境に留意しています。

初期研修医のみなさんへ メッセージ

高い専門性を持ち、かつ幅広い領域にも対応できる総合力を有した内科医は、超高齢化が進展する日本社会、そして「医師の働き方改革」の要となるタスクシェアリングにも大きく貢献できるなど、これからの時代に求められている医師です。

東近江総合医療センターの内科専門研修は、NHOの地域中核病院としての側面と、滋賀医科大学



PROFILE

出身地：滋賀県
出身大学：滋賀医科大学(1989年卒)
宝 物：特にございません
座右の銘：never give up,
never surrender

附属病院の側面を有するユニークな研修体制が大きな特徴です。また、高い専門性と総合力を修得し教育機会を豊富に提供できる病院です。

当科でなら、一人で全ての外来にも対応できる総合力を獲得することができ、これからの日本社会と医療界に必要とされ、活躍できる内科医へと成長できるでしょう。興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。お待ちしております。

VOICE × 専攻医

外来、救急、全科との連携で 専門性と総合力を幅広く経験

総合内科 山田 安希

他科の症例を学ぶことができる全診療科の医師が集まって行われる「朝カンファレンス」や、外来、救急、そして他科の症例・手技も経験できる自由度の高い研修が特徴。私の目指す内科医像であり、ロールモデルでもある、高い専門性と総合力を有した杉本先生(内科診療部長)の存在も大きな糧となっています。



PROFILE

出身地：滋賀県
出身大学：滋賀医科大学
(2019年卒)
宝 物：人との出会い
座右の銘：一期一会

目指す内科医像を 実現できる研修環境

糖尿病・内分泌内科 中島 興

専攻医1年目から週に2回の外来を経験。外来のない日は救急に入るなど、自分の目指す内科医像に合わせた自由度の高い研修が可能です。また、縦割り環境ではないため、一つの疾患を各専門科による多角的な視点で経験できることも特徴。尚且つ、早くから実践経験を積むことができるため、幅広い確かな実力を獲得できます。



PROFILE

出身地：大阪府
出身大学：滋賀医科大学
(2019年卒)
宝 物：人生
座右の銘：来るもの拒まず、
去るものを追わず



国立病院機構
東近江総合医療センター

住 所 〒 527-8505
滋賀県東近江市五智町255

WEB <https://higashiomi.hosp.go.jp>

病床数 **320**床 診療科数 **26**科

東近江総合医療センターの特徴

関西有数のスキルスラボを開設し、超音波診断・内視鏡操作・IVR手技・心音呼吸音聴診といった研修が可能である。これらのシミュレーターを使用することで、研修医は実践的な研修を受けることができる。最高水準の医療提供と、医師の教育の両方に重きを置き、安心と信頼の提供と、次世代の医師たちの育成を重視している。

国立病院機構

沖縄病院

肺がん、神経・筋疾患、結核医療に強く

臨床研究も推進する専門病院

沖縄病院 院長 大湾 勤子

セーフティネットを担いつつ 高度な肺がん治療も提供

沖縄病院は1948年に沖縄初の公立の結核療養所として開設。結核診療(呼吸器内科)の拠点として、現在でも沖縄県内のほとんどの結核患者さんを引き受けています。また、筋ジストロフィーをはじめとする神経・筋疾患の難病医療拠点病院として、2017年には「神経・筋センター」(脳神経内科)を設立。神経難病の診断と最先端の治療を提供するなど、当院は設立から一貫して沖縄県のセーフティネットとしての役割を担い、他の医療施設では対応困難な医療に取り組んできました。

また、当院は沖縄県内で最も肺がん症例数、手術数が多い施設です。2018年には「肺がんセンター」を設立し、手術、最新の化学療法や複合免疫療法、高精度放射線治療「True Beam」による放射線治療といった高度な肺がん治療を提供。さらに緩和ケア(緩和ケア病床25床)も提供するなど、診断、治療、緩和ケアまで一貫したがん診療を経験することができます。

診療科数は少ないですが、各診療科の専門医数は県内トップクラスであり、高度で質の高い専門医

療を提供していることが特徴です。さらに、高齢者の急増に対応すべく、2019年には地域包括ケア病棟(40床)を開設するなど、当院は急性期と慢性期をつなぐ役割も担っています。(※現在、地域包括ケア病棟はCOVID-19に対応すべく病棟再編により一時閉鎖中)

アカデミック活動も充実 研鑽の場として優れた環境

2019年には「臨床研究部」を発足し、治験や研究などアカデミック活動に注力していることも特徴です。当院を主導とする肺がん術式の新たな評価や、コメディカルにおいても研究や論文に取り組むなどスタッフ全員が高い志を持って医療の質を追求しています。

VOICE × 看護師

看護のスペシャリストが多数在籍 タスクシェアにも注力しています

看護部長 末松 厚子

当院では、認定看護師9名、特定行為看護師5名が活躍しており、外来でのICの医師支援など、タスクシェアの推進にも注力しています。患者さんに寄り添うチーム医療の一員として共に働くことができれば嬉しいです。

また、スタッフ同士は顔の見える関係にあり、診療科間に垣根はなく他科に相談しやすいなど、「働きやすさ」も特徴です。

高い専門性、アカデミックな環境、働きやすさなど、若手医師の研鑽の場として非常に優れた病院だと思います。

若手医師へのメッセージ

医師にとって大切なのは、一生にわたって自己研鑽を続ける「ホームワーク」。そして積極的にベッドサイドに足を運び、患者さんを診る「フットワーク」。さらに質の高い医療を提供するために必要な他部署、多職種との「チームワーク」。この3つの「ワーク」を常に意識して医療に臨み、医師人生を歩んでほしいと思います。



PROFILE

出身地：沖縄県
出身大学：琉球大学
(1987年卒)
宝 物：病院スタッフ、家族、聖書
座右の銘：一事一心



国立病院機構 沖縄病院

住所 〒901-2214
沖縄県宜野湾市我如古3丁目20-14
WEB <https://okinawa.hosp.go.jp>

病床数 **300**床 診療科数 **11**科

【診療科目】

内科、脳神経内科、呼吸器科、外科、整形外科、呼吸器外科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科

沖縄病院のある街



当院がある宜野湾市は、沖縄本島中部、西海岸沿いに位置しています。那覇市より北に12キロメートル、沖縄市より南に6キロメートルの地点にあり、那覇空港からも車で、わずか30分ほどでアクセス出来て大変便利です。気候は、亜熱帯性で、年平均気温は23.8度と四季を通じて温暖です。



PROFILE

出身地：福岡県
宝 物：患者さんからの学び、患者さんのその人らしい生活を支えること、その心
座右の銘：一期一会

NHO NEW WAVE

国立病院機構本部
人材育成キャリア支援室長
長崎医療センター
総合診療科・総合内科部長

和泉 泰衛



新編集担当者あいさつ

令和4年4月から、毎週、長崎～東京を往復する生活をしております。「大変でしょう?」と言われるかもしれませんが、自院で夜勤免除して頂き頼れる若手医師達のおかげで呼び出しもほぼなく、睡眠不足がないため、すこぶる体調は良好です(笑)。さて、コロナ感染の中、本誌の取材にみなさん快くご協力頂き有難うございました。各病院幹部や指導医の研修に対する熱い思い、そこで生き生きと研修されている研修医のみなさんの姿がお伝えできればと思います。



BACK NUMBER × バックナンバー

過去の「NHO NEW WAVE」が
WEB サイトから閲覧できます!

https://nho.hosp.go.jp/education/education_nho.html

NHO ニューウェーブ 検索



NHO

facebook & twitter

本部公式アカウント

facebook

<https://www.facebook.com/nho.headoffice>



twitter

https://twitter.com/nho_headoffice



本部のSNSで発信したい情報があれば広報係までご相談ください!